

巻頭言

年のはじめに平穏な暮らしを願う

北のポリオの会 今田雅子

少しずつ感染症対策と制限が緩和され、2024 年は穏やかであって欲しいと思っていましたが、年明けに能登半島地震と航空機の事故のニュースが続きました。被災した皆様に心からお見舞い申し上げます。1 日も早く落ち着いた生活が戻ることを祈っております。

これを書いているのは 1 月ですが、みなさまのお手元に届くのは 3 月頃になるはず。その頃までには少しは落ち着いているのでしょうか。会員さんの状況がまだ掴めないところもあるようです。寒い季節の避難生活の大変さを思い、どうぞご無事でとお祈りしております。全国ポリオ会連絡会でもできることがありましたら、協力したいと話しています。

大きな災害の時には募金など、みなさまできることはなさっていると思います。赤十字などいろいろなところが募金活動を始めていますが、そんな中、被災障害者の救援を行っている団体がありますので、ご紹介します。どこに募金しようか考えている方は、障害者に確実に役立ててもらえる「ゆめ風基金」を選択肢に加えていただければと思います。

認定 NPO 法人 ゆめ風基金（ホームページ <https://yumekazek.com> より）

1995 年、被災障害者の救援を目的に永六輔さん、小室等さんら著名人と障害者、支援者が呼びかけて発足。これまで被災障害者救援金・救援活動費は 5 億 8400 万円にのぼります。東日本大震災では、いち早く障害者救援活動を開始、今も障害者の生きる場・働く場の復興を応援しています。「一番困っているところにすばやく届ける」ことをモットーに全国の障害者団体と連携し、緊急時に備えています。また、障害者の立場から「防災提言」を発信しています。

クレジットカードでの募金ができます。詳しくはホームページをご覧ください。

郵便振込の場合 郵便振替口座番号 00980-7-40043 名義人 ゆめ風基金

ゆめ風基金は牧口一二さんというポリオの方の呼びかけから始まりました。柴田さんが会を始めるときに相談した方だそうですし、私は牧口さんが札幌にいらした時に講演を聞き握手をしていただいたことがあります。とても暖かい方です。

いつどこで起きるか分からない災害に対し、改めて備えを見直す必要があると感じています。そして何かあった時には助け合えるつながりを大事にしていきたいと思います。

災害の被害から少しでも早く普通の生活を取り戻し、平穏な日々が続くことを願って、今できることを考えています。